

『コンポストの豆知識』

『コンポスト』とは、庭・畑など屋外に設置し、生ごみを微生物や菌の働きで発酵・分解して堆肥化する容器のことです。

<使い方>

『日経アイビー発行「月刊廃棄物」2001年4月号』にて、掲載されておりました使い方を紹介します。

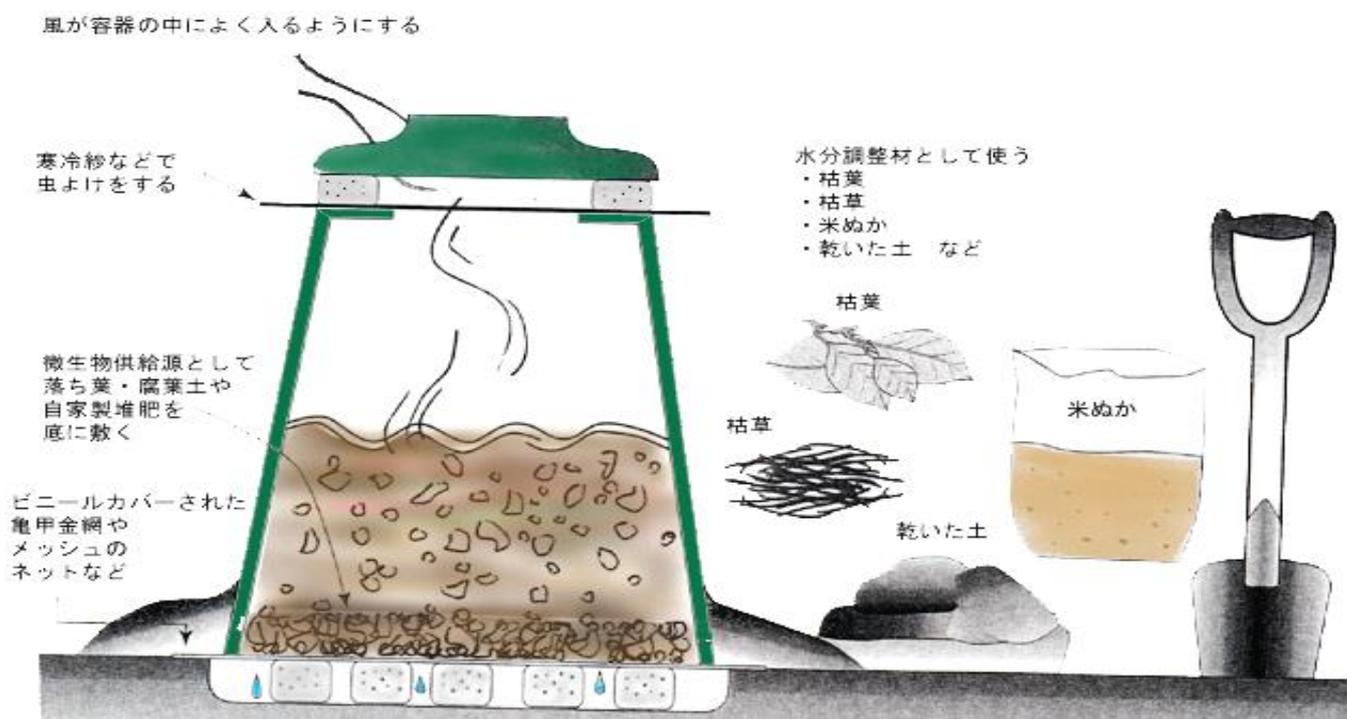


【置く場所】

南側の日当たり、排水、風通しのよいところに置きましょう。

【設置方法】

- ①設置する場所を20cm程掘り、そこに間隔を開けてレンガを並べます（小石などでもよい）。
- ②その上にプラスチック等でできた目の細かい（1cm以下）メッシュネットを敷きます。
- ③最後にコンポストの容器を設置し、コンポストの周囲を土で固めます。



【使用方法】

- ①設置が完了したら、生ごみの投入を開始して下さい。
※生ごみだけだと水分が多くドロドロになってしまうため、葉・草木・土などを一緒に入れましょう。
- ②生ごみを入れる時には必ずスコップで掘り返し、空気を入れて下さい。
- ③3ヶ月程度でたい肥ができます。

【注意点】

☆生ごみの中に、プラスチック類・タバコなどの異物を入れないようにしましょう。

※ビニールやプラスチックは、分解せずそのままの形で残ってしまいます。またタバコなどは、有害物が入るとたい肥として利用できなくなってしまいます。



【ポイント】：コンポスト容器の中で良い微生物を飼いましょう！

☆天気の良い日はフタをとって太陽光を入れ、シャベルで切り返しましょう。

☆切り返しをする際に、米ぬかなどを入れると微生物は活性化します。

☆冬の時期は、フタを閉め、ビニールシートなどでおおい保湿しましょう。

☆分解の際の水分を吸収するため、枯葉などを入れましょう。

